

鰐議第76号  
平成26年12月25日

宮城県肝臓病交友会  
代表 大江正義 殿

大鰐町議會議長 成田 孝昭

### 陳情の審議結果について

平成26年9月5日付けで貴殿より提出されておりました下記陳情書については、平成26年大鰐町議会第4回定例会において採択となったので通知します。

#### 記

- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 1 陳情受理番号 | 第5号                         |
| 2 件 名    | ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情 |
| 3 議決年月日  | 平成26年12月19日                 |
| 4 添付書類   | 意見書写し                       |



## ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充を求める意見書

我が国においてウイルス性肝炎、特にB型・C型肝炎の患者が合計350万人以上とされるほど蔓延しているが、その法的責任が国にあることは肝炎対策基本法などでも明確になっている。

B型・C型肝炎ウイルスによる慢性肝疾患の患者に対する医療費助成は、現在、肝炎治療特別促進事業として実施されているが、対象となる医療が、B型・C型肝炎ウイルスの減少を目的とした抗ウイルス療法であるインターフェロン治療とB型肝疾患に対する核酸アノログ製剤治療に限定されているため、医療費助成の対象から外れている慢性肝疾患の患者が相当数に上る。特に、肝硬変・肝がん患者は高額の医療費を負担せざるを得ないだけでなく、就労不能の方も多く、生活に困難を来している。

また、現在は肝硬変を中心とする肝疾患も身体障害者福祉法上の障害認定（障害者手帳）の対象とされているものの、医学上の認定基準が極めて厳しいため、亡くなる直前でなければ認定されないとといった実態が報告されるなど、現在の制度は、肝炎患者に対する生活支援の実効性を発揮していない。

他方、特定B型肝炎ウイルス感染者給付金等の支給に関する特別措置法の制定時（平成23年12月）には、「とりわけ肝硬変及び肝がんの患者に対する医療費助成を含む支援の在り方について検討を進めること」との附帯決議がなされたが、その後、国においては、肝硬変・肝がん患者に対する医療費助成を含む生活支援について、何ら新たな具体的措置を講じていない。

肝硬変・肝がん患者は、毎日120人以上の方が亡くなっている、医療費助成を含む生活支援の実現は、一刻の猶予もない課題である。

よって、国においては、次の事項の実現について強く要望する。

記

- 1 ウイルス性肝硬変・肝がんに係る医療費助成制度を創設すること。
- 2 身体障害者福祉法上の肝機能障害による障害認定基準を緩和し、患者の実態に応じた認定制度にすること。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成26年12月19日

青森県南津軽郡大鰐町議会

衆議院議長 町村信孝 殿  
参議院議長 山崎正昭 殿  
内閣総理大臣 安倍晋三 殿  
厚生労働大臣 塩崎恭久 殿

鰐議 第 7 6 号  
平成 26 年 12 月 25 日

B型肝炎被害対策東北弁護団  
団長 鹿又喜治 殿

大鰐町議会議長 成田 孝昭

陳情の審議結果について

平成 26 年 9 月 5 日付けで貴殿より提出されておりました下記陳情書については、平成 26 年大鰐町議会第 4 回定例会において採択となったので通知します。

記

- |          |                             |
|----------|-----------------------------|
| 1 陳情受理番号 | 第 5 号                       |
| 2 件 名    | ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情 |
| 3 議決年月日  | 平成 26 年 12 月 19 日           |

鰐議 第 7 6 号  
平成 26 年 12 月 25 日

薬害肝炎訴訟東北弁護団  
団長 増田祥 殿

大鰐町議会議長 成田 孝昭

### 陳情の審議結果について

平成 26 年 9 月 5 日付けで貴殿より提出されておりました下記陳情書については、平成 26 年大鰐町議会第 4 回定例会において採択となったので通知します。

#### 記

- 1 陳情受理番号 第 5 号
- 2 件 名 ウイルス性肝炎患者に対する医療費助成の拡充に関する陳情
- 3 議決年月日 平成 26 年 12 月 19 日